



令和4年度

# 松浪小だより

第12号

学校教育目標……『豊かな心を持ち、自律して行動できる子』を育む学校

目指す子ども像…『・進んであいさつする子・自ら学び、自分の考えが言える子・人の話が聞ける子  
・元氣よく友だちと遊ぶ子・進んで仕事をする子』

理想とする学校像……「共に学び 共に歩み 共に創る」

- ①児童や教職員が生き生きする学校
- ②保護者や地域から信頼される学校
- ③教職員が互いに研ぎ合う学校

令和4年12月23日(金)発行  
茅ヶ崎市立松浪小学校 校長 安倍 武雄

## 「子供は答えを知っている」

すでにご案内のとおり、12月19日より地域の感染レベルが2に引き上げられました。連日神奈川県でも1万人以上の感染が報告され、松浪小学校でも学級閉鎖をしなければならぬクラスも出てしまいました。その後、学級内で感染が広がる様子は見られませんが、全校に少しずつ散らばって感染者や濃厚接触者が報告されています。基本的な感染対策を一人一人行うようにしていきましょう。

レベル2においては「本人及び同居の家族に未診断の発熱等の風邪の症状がある場合は出席しない」ことや、発熱等体調不良時にはごきょうだいも同時にお迎えをお願いすることもあります。学校は集団で生活する場です。感染者がいれば、すぐに広がる可能性は捨てられません。どうぞご理解の上、ご協力をよろしく願いいたします。

そんなレベル2になる直前、タイミングよく子供たちの楽しみにしている行事を行うことができました。



それは「第2回なみっこスマイルタイム」です。以前はこの時期に「松浪祭」としてクラスごとに（3年は学年・1年は見学のみ）お店屋さんを出して、前半・後半と分け、お店の運営とお客さんが交代しながら半日かけて楽しむという全校一斉の大イベントを行ってきていました。子供たちもとても楽しみにしていて、大好きな行事の一つでした。左の写真は2019年の松浪祭で活躍する3年生の様子です。体育館で

様々なアトラクションで全校のみんなを楽しませてくれました。しかし、その後の2年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、松浪祭を中止せざるを得なくなってしまったのはすでにご存じのとおりです。

この3年生が、今年6年生になりました。秋口のある朝、東門で「おはよう」と子供たちに声をかけていると、ある二人の6年生が私に声をかけてきました。

子「あの、先生。松浪祭をやっていただけませんか？」

私「そうだね。みんながやりたいのはわかっているけれど、今まで通りのものはできないな。

密が避けられないでしょ」

子「そんなのわかっています。何か新しいものができないか考えたいんです。だって、予定表に「松浪祭」がないじゃないですか」

私「いや、いつも通りの松浪祭ができないから、予定には書いていないけれど、時間だけは確保してあるよ」

子「そんなんですね。ちょっと考えてみます。」とその場は終わりました。

運動会も終わり、いよいよ松浪祭について職員会議で検討しなければならない時期が迫ってきました。私は子供たちが考える新しい形をどうしても実現しなかったので、その時声をかけてくれた6年生を校長室に呼んで話を聞くことにしました。

私「何か思いついた？」

子「松浪祭でやっていたような、クラスで作るという一体感が欲しいんです」

私「全員が集まるのは難しいから、夏休み前にやった縦割り班を生かせないかな」

子「そうか。じゃあ、クラスで下の子たちを遊ばせるような感じにしたら…」

子「遊びのブースを体育館とか、外に作って5年生が案内してくれたらいい!」…



そんな経緯でできあがった今年の「第2回なみっこスマイルタイム」でした。1組から5組のクラスごとに2時間ずつ5回に分けての実施です。6年生が6つのブースで遊びを独自に考え1～5年生に楽しんでもらう新しいイベントができあがりしました。もぐらたたき、輪ゴムでっぼう（バズーカサイズも!）、紙吹雪キャッチ、キックボーリング、ストライダーレース…。子供たちのアイデアが詰まったブースが並び、子供たちもニコニコでした。

私が若いころ先輩から言われた言葉に「困ったら子供に聞いてみな。子供は答えを知ってるよ」というものがありません。今回はまさにその通り。子供に聞いてみたら、今の状況でもできる楽しいイベントを作ることができました。子供も、先生も満足のイベントになりました。



## 一生に一度

12月14日には、6年生が国会見学に行きました。国会職員や議員にならない限りおいそれとは入れない国会に足を踏み入れ、実際の議場を見学できたのはラッキーなことでした。渋滞で、北の丸公園の時間がとても短くなってしまいましたがそれでも十分楽しめた一日となりました。

## 良い年をお迎えください

令和4（2022）年が終わります。今年の漢字は「戦」でした。平和の大切さと難しさ、ありがたさを考えさせられる出来事の多い1年でした。とはいえ、学校は決してそんな物騒なものにはならず、とても平和な1年だったと思っています。それも保護者・地域の皆様のご理解・ご協力の賜物であったと感謝しております。どうぞよいお年をお迎えください。そして、令和5（2023）年が皆様にとって幸せな1年になりますようお祈りしています。